

東日本大震災に係る都市整備局の対応について

1 被災地・被災者への支援状況

(1) 被災地への人的支援

避難所運營業務などのため、3月14日から4月22日までに11人の職員を仙台市に派遣

(2) 被災地からの避難者に対する支援

ア 駐車場の提供

財団法人横浜市建築助成公社と株式会社横浜都市みらいの協力により、3月19日から通常料金よりも安価で駐車場を提供

駐車場	住 所	収容台数	設定料金	施設所有者
みなとみらい公共駐車場 (パシフィコ横浜)	西区みなとみらい 1-1-1	400 台	200 円/日	財団法人横浜市 建築助成公社
港北ニュータウン センター北駅前地下駐車場	都筑区中川中央 1-102	120 台		株式会社 横浜都市みらい
港北ニュータウン センター南駅前地下駐車場	都筑区茅ヶ崎中央 100	250 台		

■ 利用台数 (5月6日まで)

みなとみらい公共駐車場：14 台

港北ニュータウン センター北駅前地下駐車場：2 台

港北ニュータウン センター南駅前地下駐車場：0 台

イ 自転車の提供

横浜都心部でコミュニティサイクル社会実験を都市整備局と協働で実施している株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモから、一時避難所となっている「たきがしら会館」に避難されている方へ自転車を無償提供

■ 自転車台数：7 台 (内「幼児同乗タイプ」3 台)

■ 場 所：たきがしら会館 (磯子区滝頭三丁目 1-68)

■ 提供期間：4 月 14 日から、3 ヶ月程度を予定

■ 利用回数：延べ 64 回 (5 月 6 日現在)

2 その他の対応

(1) 「総合的な震災対策の考え方」について